



ダンススポーツグランプリ in 静岡2024

7月14日(日) / グランシップ大ホール「海」

会場のグランシップ (GRANSHIP) は、「文化創造と交流の拠点」として静岡県が設置する複合文化施設。設置の目的は、学術、文化及び芸術の振興並びに国内外との交流を図ることであり、大規模コンベンションや各種学術会議等を通じ、文化振興の一翼を担っています。新たな文化の創造拠点として、人、もの、文化、情報が交わり、人々が集い憩う“県民のオアシス”となること。その会場大ホールにおいて、ダンススポーツの祭典、静岡グランプリが第31回を迎え盛大に開催されました。



金子和裕静岡県DS連盟会長 (JDSF常務理事)

静岡県DS連盟創立35周年記念式典を1カ月後に控えていますが、今大会は1993年(平成5年)に第1回を開催し、以後欠かさずことなく今年もトップ選手を多数迎え開催することが出来ました。関係者各位に御礼申し上げます。そして素晴らしいダンスを観て4年後に公開競技となる国スポを目指す子供たちの励みになることを期待します



溝口稔県連特別顧問 (大会チェアパーソン)



杉山典克県連副会長 (大会統括マネージャー)

グランプリ スタダード

準決勝・決勝を通して30点以上(40点満点)の絶対評価をマークしたのは大西組のみ、それも全種目で獲得。2位以下に大差をつけて優勝。静岡グランプリでは、2019年優勝(St)以後、スタンダード、ラテンに関わらず連続優勝を飾り(2020年はコロナ禍で中止)、5連覇を達成しました。



優勝
大西 大晶・大西 咲菜 組 (富山県)



準優勝
中村 エドワード漸・中村 エリザベス永理 組 (東京都)



第3位
倉科 翔・伊藤 梨乃 組 (長野県)



第4位
ホワイトン 謙心・ホワイトン 夏奈実 組 (ブルボンDST)



第6位
太田 歩生・松本 京佳 組 (北海道)



第5位
小林 才時・小西 乙愛 組 (ブルボンDST)



優勝
中島 瑠大・岡田 愛彩 組 (北海道)



準優勝
境 康太郎・境 楓 組 (沖縄県)



第3位
白井 翼・椎葉 陽子 組 (福岡県)



JDSF A級戦 ラテン

全日本ユース選手権ユース ラテン

優勝



今西 竜矢・大西 陽来里 組
(ブルボンDST)

準優勝



ホワイトン 謙心・
ホワイトン 夏奈実 組
(ブルボンDST)

小林才時・小西乙愛組
(ブルボンDST)



第3位

吉岡栄太・阪井麗蘭組
(東京都)



第4位



南山 雄大・打越 心優 組 (長野県)
第5位



ヴァグネル 悠樹・和嶋 凜々愛 組
(石川県)
第6位

JDSF B級戦 スタンダード

優勝



鈴木 伶音・渡辺 華凜 組
(ブルボンDST)

準優勝



柁嶋 航也・平野 瑛子 組
(千葉県)

JDSF B級戦 ラテン

優勝



亀谷 享・亀谷 智美 組
(沖縄県) (シニアII A級La優勝)

準優勝



井口 健太郎・
井口 茂絵美 組 (神奈川県)

第3位



佐々木裕一・下井田裕子組
(神奈川県)



シニアII A級戦 スタンダード

優勝



西嶋 一人・小林 晶子 組
(キャッツアイ)
(シニアIII A級St優勝)



シニアII A級戦 ラテン



シニアIII B級戦 スタンダード



シニアIII A級戦 スタンダード



シニアIII A級戦 ラテン



大河原 敏朗・小菅 睦 組
(DCアリス)
優勝



JDSF C級戦 スタンダード



JDSF C級戦 ラテン



JDSF D級戦 スタンダード



JDSF D級戦 ラテン



第3位
齊藤 崇幸・玉井 絵里子 組
(北海道)